

COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策

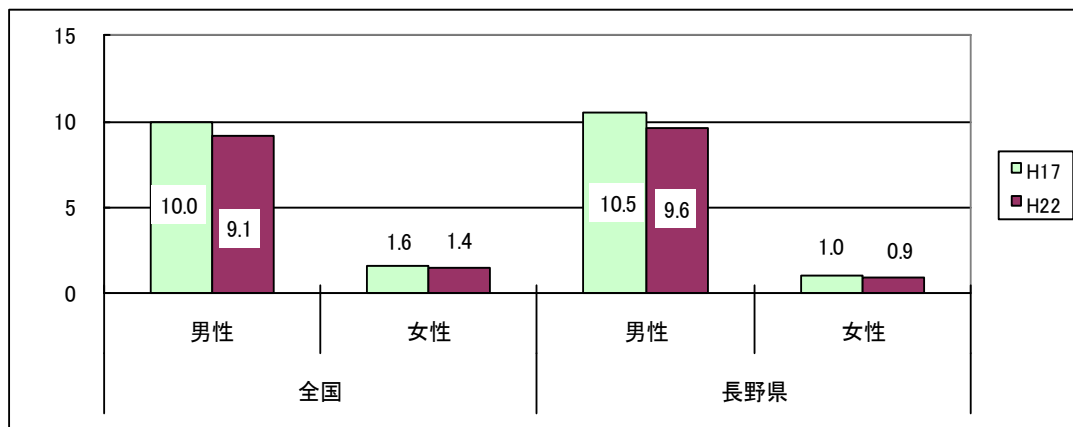
第 1 現状 (これまでの成果) と課題

1 COPD (慢性閉塞性肺疾患) による死亡

- 男性の年齢調整死亡率が全国に比べ高くなっています。

H29 年度中に H27 調査結果公表予定

【図 1】 COPD (慢性閉塞性肺疾患) による年齢調整死亡率(人口 10 万対)



(厚生労働省 人口動態特殊報告「都道府県別年齢調整死亡率」)

2 COPD (慢性閉塞性肺疾患) の有病率及び患者数

- 推計患者数に占める受診者数が約 6% であり、大多数が未診断・未治療と思われます。

【表 1】 COPD (慢性閉塞性肺疾患) 有病率及び患者数 (全国)

推計患者数	有病率	受診者数
530 万人	8.6% (40 歳以上)	26 万 1000 人 (H26 患者調査)

(NICE study, the Nippon COPD Epidemiology study 2001)

3 COPD (慢性閉塞性肺疾患) の総患者数

- 本県の総患者数は概ね横ばいですが、全国では増加傾向にあります。

【表 2】 COPD (慢性閉塞性肺疾患) のために継続的に医療を受けている者 (千人)

区分		平成 14 年	17 年	20 年	23 年	26 年
全国	男	135	146	114	169	198
	女	78	78	60	98	101
長野県	男	2	2	3	4	4
	女	2	1	0.5 未満	2	1

(厚生労働省 患者調査)

(参考)

● COPD（慢性閉塞性肺疾患）

COPD：chronic obstructive pulmonary disease（慢性閉塞性肺疾患）とは、従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称です。COPDは「たばこ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露（ばくろ）することで生じた肺の炎症性疾患」であり、日本では原因の90%以上が喫煙とされています。

長年の喫煙習慣を背景に中高年に発症する生活習慣病と考えられていますが、COPD（慢性閉塞性肺疾患）という言葉やその内容が十分に周知されていないのが現状です。

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の症状は坂道歩行や階段昇降など、身体を動かした時に息切れを感じる「労作性呼吸困難」が特徴であり、慢性のせきやたんも特徴的な症状です。喫煙歴があつて、せき、たん、労作性呼吸困難がある中高年者はCOPD（慢性閉塞性肺疾患）が疑われます。（日本呼吸器学会）

COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策に関する論点

- 1 喫煙者を主とした県民への普及啓発をどのように進めるべきか。
- 2 県としてどう取り組むべきか。